

【特別公開授業】

激動のグローバル社会におけるソリューションとしての国際金融 ～国際協力銀行（JBIC）の役割と未来への挑戦～

- **国際協力銀行（JBIC）** は、日本の政策金融機関として、日本と世界、官（政策）と民（ビジネス）をつなぐ立ち位置で、日本経済の成長や地球規模の課題解決に貢献しています。
- 今回のセミナーでは、JBICの役職員より、豊富なプロジェクトファイナンスの経験を持つ**JBICの役割や事業内容を紹介しつつ**、日本を含む**グローバル社会が直面する課題と国際金融を通じたアプローチを解説**します。

開催日時 12月6日（金）（経営管理大学院生、京都大学学部生・大学院生が対象）

15:00～ 関根 宏樹 客員教授（JBIC 常務執行役員 インフラ・環境ファイナンス部門長）

16:00～ 清水 勇佑 非常勤講師（JBIC エネルギー・ソリューション部 調査役）

17:45～ JBIC人事室：JBICのご紹介

開催場所 総合研究2号館 3階 ケーススタディ演習室

講師紹介



関根 宏樹 客員教授（JBIC 常務執行役員 インフラ・環境ファイナンス部門長）

1995年東京大学経済学部卒業、日本輸出入銀行（現JBIC）入行。2005年ロンドン・ビジネススクール金融修士課程修了。2020～21年、英国王立国際問題研究所客員研究員。帰国後、企画部門特命審議役を経て、2023年より現職。

メッセージ

目まぐるしく動く国際情勢や地政学の課題に加え、近年は気候変動やデジタル化の進展により、インフラ投資を取り巻く世の中の流れが変化を続ける中、社会課題に対応するためのソリューションとして、プロジェクトファイナンスを含むファイナンスツールを活用した事業実現のあり方を議論しましょう。



清水 勇佑 非常勤講師（JBIC エネルギー・ソリューション部 調査役）

2014年東京大学法学部卒業、JBIC入行。法務・コンプライアンス統括室、日本政策投資銀行出向、電力・新エネルギー第1部、経営企画部を経て、2023年より現職。

メッセージ

プロジェクトファイナンスの変遷を振り返りつつ、SDGsや脱炭素化といった未来志向のアジェンダを踏まえた今後の展望を一緒に考えていきましょう。